

奄美に住むエイリアン

日時： 令和2年1月18日（土曜日） 9:00～11:50

場所： りゅうがく館講堂、大勝 大美川及び周辺

講師： 千葉 康人先生、牧野 孝俊先生（奄美野生生物保護センター）

参加者： 未就学児2人、児童・生徒42人、保護者18人、計62人



先生方の外来種のお話とても勉強になりました。



オオフサモ（外来種）すごく多くてビックリ！！



約80個のゴミ袋分の外来種を駆除できました！



駆除作業はみんなで協力して行いましょう☆

第6回講座は奄美にいる“外来種”をテーマに奄美野生生物保護センターの千葉先生と牧野先生を招いて講座を行いました。世界遺産登録を目指している奄美大島にとって外来種とはどのような生き物をいうのか、外来種がどのような影響を与えているのか、たくさん学ぶことができました。



大勝集落の大美川で大量のオオフサモ（外来種）を見て、びっくりしましたね。

みなさんで協力しながら駆除作業を行い、約80個のゴミ袋いっぱい外来種を取り除くことができました。

赤徳小3年 佐竹すみれさんは「外来種がいると固有種がいなくなったり住みにくくなる」事を初めて知ったそうです。また、大勝小5年 二瓶成さんは「外来種を減らし固有種の未来を守る事が大切」だと気づいたそうです。

今回学んだこと・体験したことをきっかけに、普段の生活ではなかなか気付かない外来種の存在に目を向けて、自分たちにできることから始めていきましょう！